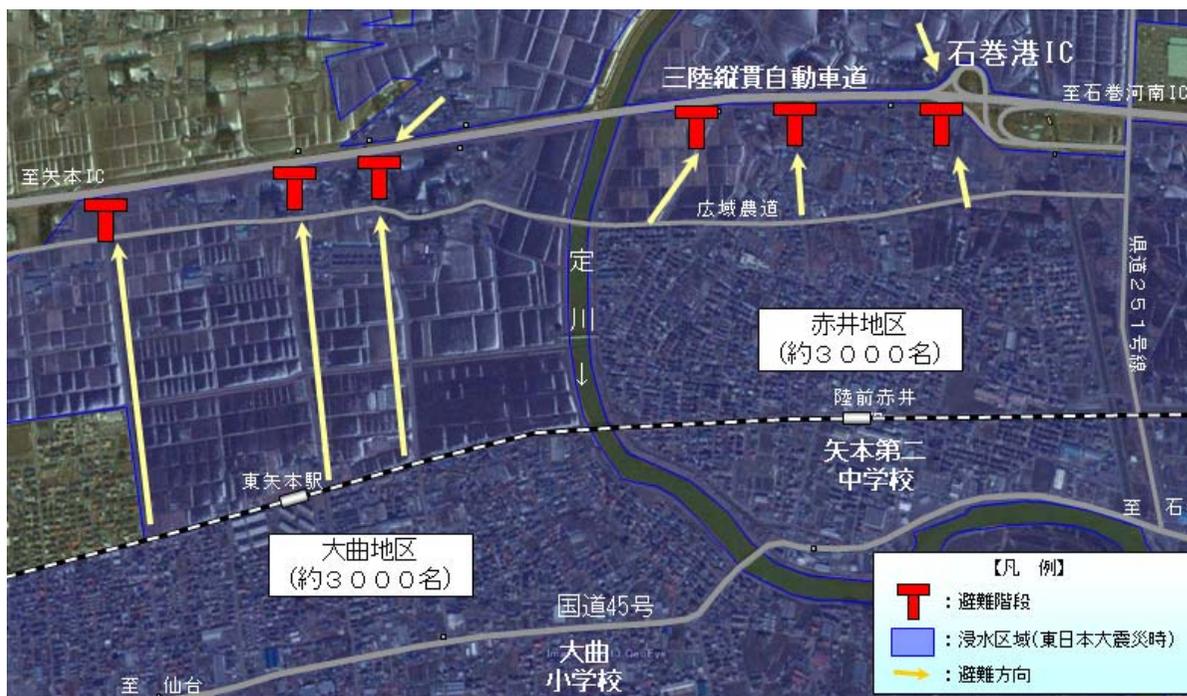


# 津波から住民を守る『避難階段』を設置(東松島市)



- ・東日本大震災(H23.3.11)時の津波では近隣の住民が三陸自動車道へ一時避難。
- ・震災後、赤井・大曲地区周辺は平坦地で高台が少ないため、三陸自動車道を一時避難箇所として地域要望。
- ・三陸自動車道の法面部に津波避難階段6箇所と誘導のための標識・LEDライト等を整備。
- ・避難階段の整備により、安全で迅速な避難が可能となり被害の軽減が期待される。



### 津波避難階段を利用した総合防災訓練を実施

#### 《総合防災訓練参加者の声》

- ・震災の時もここに避難した。当時は梯子で柵を越え、草木をつかんで上り足場が悪かった。避難階段があれば安心できる。
- ・東日本大震災の時は、(高齢者は)三陸道に上がりたくても登れない状態でした。今後は安心して避難できます。
- ・幼い子供がいるので、近くに避難できる高台(三陸道)があるので安心です。

### 震災時の被災状況



▲市指定避難場所の当時の状況【東松島市提供】

### 津波避難階段までの誘導標識整備



▲三陸自動車道の周辺は津波の影響で1~2m冠水。三陸自動車道を利用し徒歩での帰宅や避難所へ向かう住民が多く見受けられた。【平成23年3月11日撮影】



▲地域住民の方々が門扉の開閉方法や階段の利用方法を確認【平成25年6月7日撮影】